

環境ビジョン 1

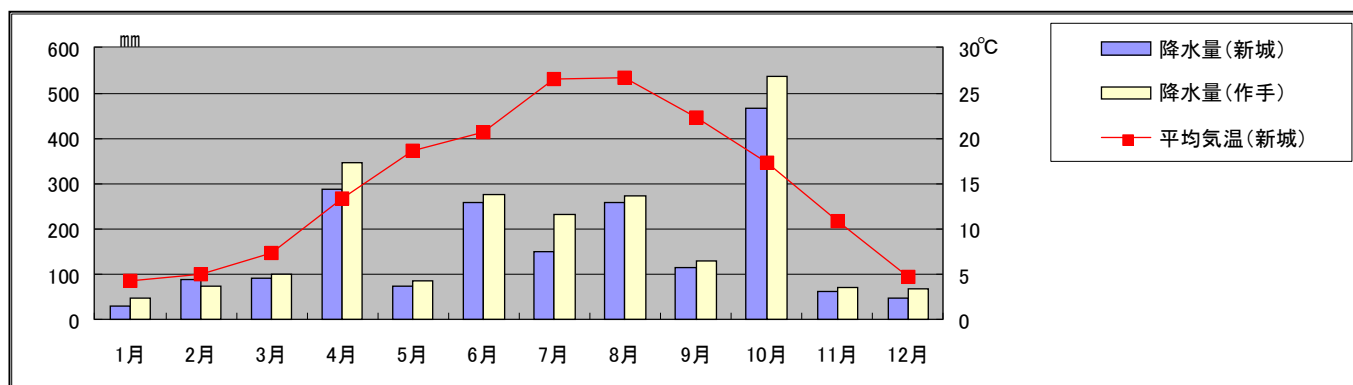
多様な生態系と共生するまち

わたしたちは、自然環境を大切にすることを育み、多様な生態系を維持・保全しながら、地域資源を有効に活用する『多様な生態系と共生するまち』を創造し、将来世代に引き継いでいきます。

【自然環境の把握】

1 気候

本市は、新城・鳳来地区と作手地区との市域高低差が約500mあります。豊川沿いに位置する新城・鳳来地区の年平均気温は約15℃と比較的暖かな地域ですが、作手地区になると約12℃となり、市域内で2～3℃の気温差になります。また、総雨量も気温と同様に市域によって差があります。降雪は、豊川沿いに位置する地域では毎年12月から3月までに数回記録されますが、積雪はほとんどありません。作手地区になると、冬場は積雪や道路の凍結が多くなります。



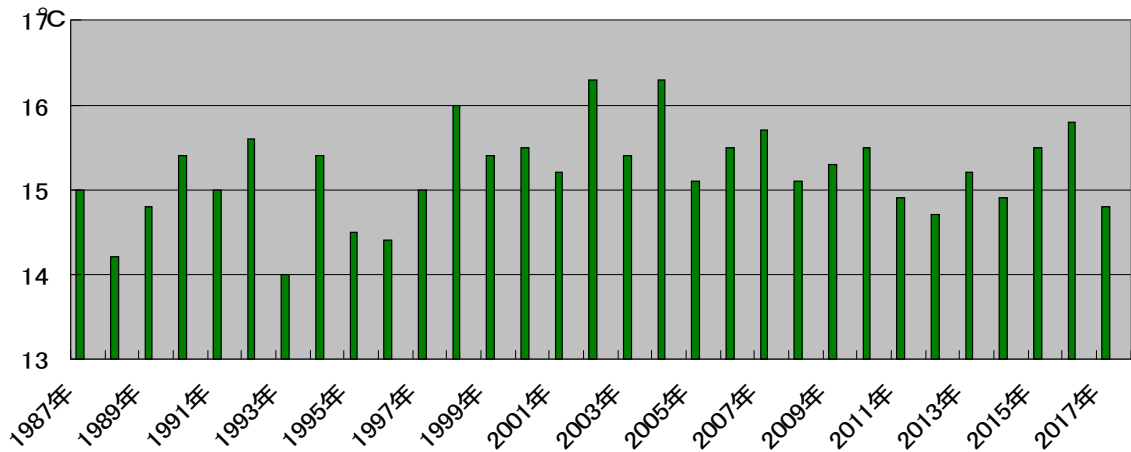
平成 29 年 月別平均気温・降水量

(気象庁統計データ)

1987年から2016年までの30年間のデータを比較すると、年平均気温は上がったたり下がったりをくり返しながらも徐々に気温が上昇傾向にあるのがわかります。特に1993年以降、年平均気温が14℃を下回ることはありません。

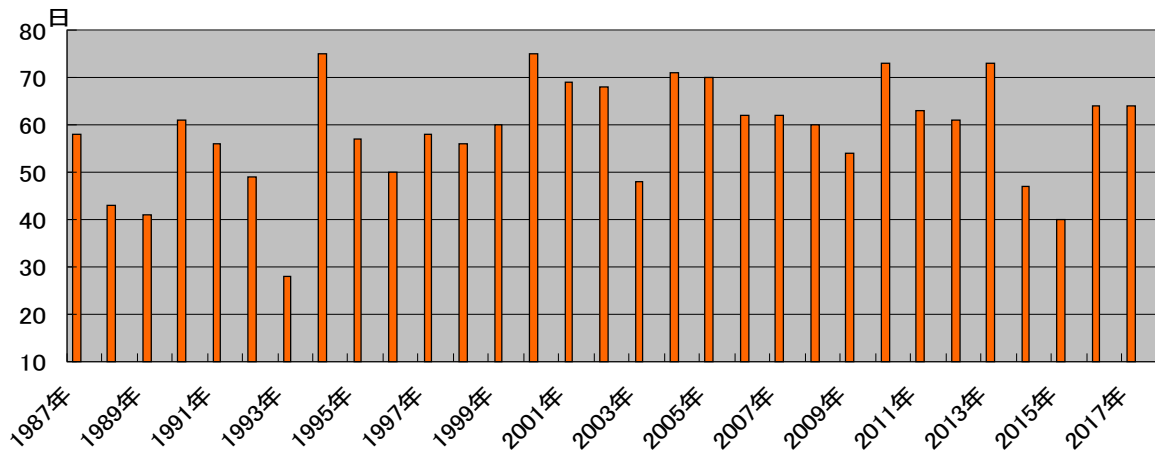
また、最高気温30℃以上の「真夏日」日数、最低気温0℃未満の日数においては、直近の10年間と1986～1995年の10年間とを比較してみても、温暖化傾向にあることがわかります。

【年平均気温の推移】



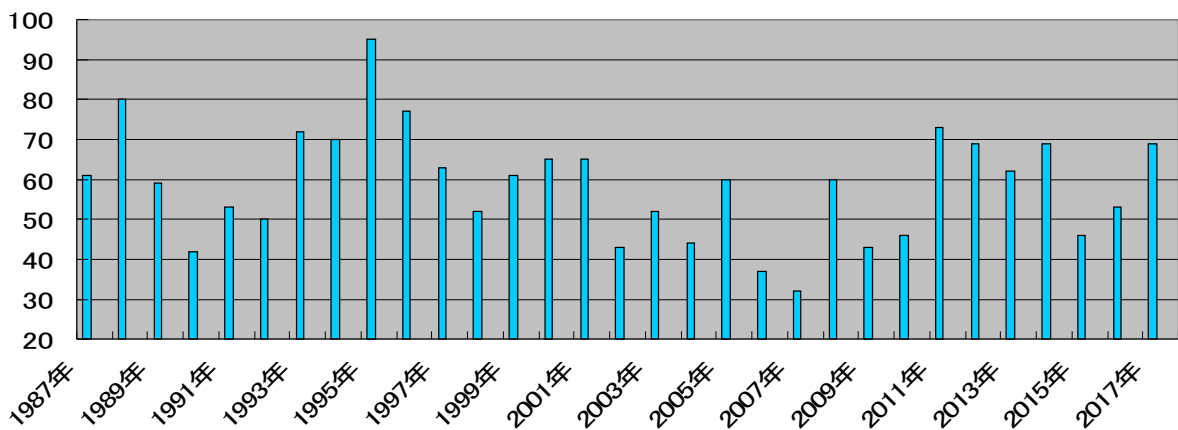
(気象庁統計データ)

【最高気温30°C以上の日数】



(気象庁統計データ)

【最低気温0°C未満の日数】



(気象庁統計データ)

※観測点は、2002年以前は旧鳳来町長篠地内にありました。現在は、新城市富沢地内に移設されています。

2 地形・地質

段戸高原を源とする豊川（寒狭川）と宇連ダムを起点とする宇連川が鳳来寺山の東西を挟むように流れています。

この2河川が、長篠の戦いの中心となった長篠城址の下で合流し、豊川本流となり三河湾へと注がれます。

この豊川に沿って日本最長の断層帯「中央構造線」が縦走り、地形と地質を豊川本流右岸の内帯と左岸の外帯に分けています。内帯側の地質は、花崗岩類・領家変成岩類と堆積岩、火山岩類が分布しています。

外帯の地質は、主に緑色片岩や黒色片岩からなる三波川変成岩類で構成されています。平野部は洪積層・沖積層となっています。



作手地区 長ノ山湿原

作手地区は床土が水をにがさない粘土であること、平らな地形で湧き水があり、夏の気温が低く雨の多い気候であることなどの条件から湿原や湿地が点在しています。作手の湿原は、愛知県で唯一、土の酸素が少なく酸性が強いため植物が腐らずに炭のようになるでい炭のある湿原であることから「日本の重要湿地500」に選定されています。

3 植生

本市の行政面積は、83.5%が森林で、尾根沿いを中心に在来の常緑広葉樹林が点在しているものの、森林面積の80%以上はスギやヒノキの人工林となっています。

新城・鳳来地域は、暖地系の植物の多い地域で、特に鳳来寺山は、ホソバシャクナゲの自生地として全国的にも有名です。また、ツガ群落の他、亜高木のヤブツバキ、アラカシ、ツクバネガシや低木層のアオキなどが常緑広葉樹林の群落をつくり、シダ植物以上の高等植物が800余種確認されています。天然のよい植物見本園として、国の名勝および天然記念物に指定されています。

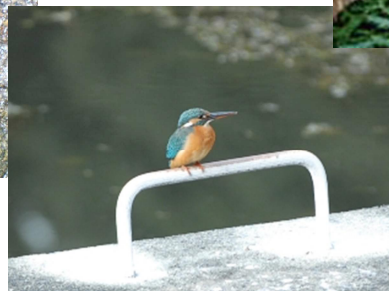
豊川沿いにおいても、比較的自然植生が多く種類も豊富です。特に桜淵公園の蜂の巣岩付近は、石灰岩を含む地質で構成されており、クモノスシダ、ツルデンダなど石灰岩特有の植物が見られます。

作手湿原には、全国的に見ても絶滅の危険性のあるサギソウ、トキソウ、サワラン、ヤチスギランや県内でもこの地域でしか見られないサギスゲ、ミタケスゲ、ヌマクロボスゲ、ツルカミカワスゲ、ミヤマナルコスゲなどの貴重なものがみられます。

4 動物

本市は、豊川・矢作川にそそぐ支流小河川とその周辺の農地および外縁部の山地などほぼ市域全体が豊かな自然環境に恵まれており、多くの動物が生息しています。

種 類	解 説
哺乳類	市内全域の山地を中心にニホンザルをはじめイノシシ、タヌキ、ニホンリス、ノウサギなどの生息が見られます。また、本宮山を中心とする地域にホンシュウシカ（ニホンジカ）が生息し、分布を広げています。山地と一部の社寺林にはムササビの生息が確認されています。
鳥類	豊川やそれに注ぐ小河川を中心に市域外縁部の山地まで全域にわたり多くの野鳥が生息しています。豊川には、オシドリや「水辺の宝石」ともいわれるカワセミが生息し、桜淵公園だけでも年間を通して約80種の野鳥が確認されています。また、鳳来寺山には「仏法僧(ブツボウソウ)」と聞こえる鳴き声で有名なコノハズクの生息が確認されています。
魚類	天然記念物ネコギギをはじめ、ウナギ、アユ、オイカワ、ウグイ、コイ、ホトケドジョウ、メダカなどの生息が確認されています。しかし、市内の沼や池には外来種ブラックバスやブルーギルなどが繁殖していることから在来種の生息が危ぶまれています。
昆虫類	本市には、様々な植生があることから、多くの種類が確認されています。1983年（昭和58年）3月に市の天然記念物に指定されているヒメハルゼミをはじめ、多くのセミ類、トンボ類、チョウ類、また、カブトムシ、ミヤマクワガタ、ノコギリクワガタなどの甲虫類やタガメ、ヒメボタルなどが生息するとされています。しかし、スギやヒノキの植林地が広がり、シイやカシの林に生息するといわれるヒメハルゼミの確認が難しくなっています。その他の昆虫類も開発や農薬などの影響を受けて確認事例が減少傾向にあります。また、外来種による日本固有の生態系への影響が懸念されています。
爬虫類	シマヘビ、ジムグリ、タカチホヘビ、アオダイショウ、ヤマカガシ、マムシなどのヘビ類やニホンイシガメ、ニホンカナヘビ、ニホントカゲが確認されています。最近では、ペットとして飼われていた外来種が自然に放されることにより、在来種の生態系への影響が懸念されています。
両生類	山地の樹上で昆虫やクモ類などを食べ、単独で生活する日本固有のモリアオガエルや、ヒキガエル、アマガエル、トノサマガエルなどのカエル類やイモリが確認されています。モリアオガエルは、県内でも特にこの地域での生息が確認できます。



1 保全と創出

●豊かな自然の保全

【生命の源としての自然の確保】、【生物生息空間の保全・維持】

●身近な自然の創出

【原風景の回復】

《四谷の千枚田の特徴》

千枚田のある四谷地区は鞍掛山（標高883メートル）の南西斜面に広がる山間集落で、石積みの棚田は、標高220メートル付近から鞍掛山頂に向かって標高420メートル付近まで広がっており、その標高差は約200メートルにもなります。また、棚田は、鞍掛山を水源に持ち、四谷の千枚田を囲むように山あい大代、大林、身平橋、田の口の4集落で構成されています。

鞍掛山の中腹からこんこんと湧き出てくる水は、毎秒20リットルで^か潤れることも無く、昔から大雨が降っても濁らず、生活排水の混入もなく、石積み水路と透有感のある清水が三筋の沢として流れ、棚田を潤しています。

傾斜地山林を苦勞して開墾し、構築された石積みは、鞍掛山の転石や山崩れで流出してきた石だけを積んだ棚田であり、また石積みの土地に家屋も建築しており、独特の石垣風景を呈しています。これらの自然石による石積みの棚田は、鞍掛山と融合し一体的な調和を醸し出しており、この素晴らしい光景は訪れる人の心を和ませています。

《千枚田の魅力・能力》

山の傾斜地に作られた千枚田は、そのあぜや石垣によって大雨の際の土壌浸食を防ぐとともに、またその保水機能によって調整池の役割を果たし、水が一気に流れ出るのを抑える災害防止機能を備えています。

山の斜面や丘陵地に段々と折り重なり、その曲線美を見せる四季折々の棚田の風景の美しさは、はるか太古の昔から日本の原風景として日本人の心に潤いとやすらぎを与えて来ました。

「四谷の千枚田」は大雨でも濁らない湧き水を持ち、おいしい米（棚田米）を生み、四季折々に多彩な表情を見せてくれて奥深い魅力を秘めています。常に水をたたえて豊かな緑を育む田は、様々な動植物にも生息空間を提供しています。「四谷の千枚田」ではモリアオガエルやヤマアカガエルの生息も見られます。

山の傾斜地に作られた千枚田は、そのあせや石垣によって大雨の際の土壌浸食を防ぐとともに、またその保水機能によって調整池の役割を果たし、水が一気に流れ出るのを押さえる災害防止機能を備えています。



《鞍掛山麓千枚田保存会》

千枚田の保存活動を通じて、農業労働力の確保と農業振興および地域の活性化を図るため組織されたグループです。活動内容としては耕作放棄地の解消に取り組むとともに「田植え体験」「稲刈り体験」「生き物観察会」など都市と農村の交流も図っています。

この他にも水路、里山の環境整備を行い、美化活動にも取り組んでいます。

◇鞍掛山麓千枚田保存会(平成29年度活動実績)

実施日	活動内容
4月5日(水)	横浜ゴム株式会社新城工場新入社員研修によるふれあい広場の整備等：新入社員を含む25人参加
5月7日(日)	J A 愛知東こども農学校の田植え：60人参加
5月11日(木)	鳳来寺小学校5年生児童の代掻き：9人参加
5月11日(木)	豊橋調理製菓専門学校による生息調査、田植え：35人参加
5月17日(水)	鳳来寺小学校5年生児童の田植え：9人参加
5月20日(土)	新城高校農業クラブの田植え：60人参加
6月3日(土)	第12回お田植え感謝の夕べ「灯そう千枚田」：大勢の皆さんで千枚田に火が灯され美しい空間が創られた
6月8日(木)	豊橋調理製菓専門学校による生息調査、田の草取り、梅の収穫：34人参加
6月11日(日)	「春の生きものを探そう」開催：50人参加 (鳳来寺自然科学博物館主催)
7月7日(金)	第8回中部環境先進5市サミット参加(岐阜県多治見市)
9月14日(木)	豊橋調理製菓専門学校の稲刈り：34人参加
9月18日(月)	新城高校農業クラブの稲刈り：60人参加
9月19日(火)	鳳来寺小学校5年生児童の稲刈り：9人参加
9月23日(土)	J A 愛知東こども農学校の稲刈り：80人参加
9月28日(木) 9月29日(金)	第23回全国棚田(千枚田)サミット参加(長崎県波佐見町)
10月12日(木)	豊橋調理製菓専門学校の脱穀、成果報告会：34人参加
12月10日(日)	収穫感謝祭の開催



横浜ゴム株式会社新城工場
新入社員研修の様子



鳳来寺小学校5年生児童の
代掻きの様子



豊橋調理製菓専門学校
脱穀の様子

《鳳来寺小学校》

鳳来寺小学校は児童数66名の学校で、約9kmほど先に有名な四谷の千枚田があります。

千枚田での学習は平成8年度に始まった活動で、学校統合のため平成27年度末で閉校となった連谷小学校から統合先である鳳来寺小学校へと引き継がれたものです。3枚の田を地元の方からお借りし、5年生が総合的な学習の時間に田起こし、田植え、草取り、稲刈り、はざかけ、脱穀等の作業を進めます。平成29年度は5月から3月まで活動しました。収穫したお米は、調理実習や給食で食べました。12月には来年度に向けて4年生も5年生と一緒に千枚田に出かけ、田起こしをしました。そして最後に田んぼ跳びをして楽しみました。

◇鳳来寺小学校活動実績（平成29年度）

実施日	活動内容	
5月11日(木)	代かき	
5月17日(水)	田植え	
6月5日(月)	田の草取り	
9月19日(火)	稲刈り はざかけ	
10月18日(水)	脱穀	
12月18日(月)	田起こし 田んぼ跳び	
3月19日(月)	千枚田へ看板設置	

【自然に配慮したまちなみ景観・公園づくり】

《新町地区まちづくり協議会》

平成29年度事業の概要

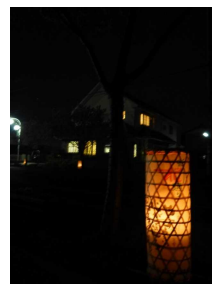
(1) ひだまりパーク・街路樹「陽光桜」等の管理

ひだまりパークの花壇の手入れと「新桜通り」に設置したフラワーポットの植え替えを定期的に行い常に良好な状態を保つとともに、街路樹「陽光桜」を点検し、害虫の発生等異常をいち早く発見するよう努め生育の管理をしました。また、どうしても枯れてしまった桜などもあり、それらについては食彩園やどかりで補助的に育成している「陽光桜」を植え替えました。

(2) まちなか景観向上のための活動

「ひだまりパーク」や「まちかどここにわ」の整備など、花による季節感を創作し、良好な景観づくりに努めました。また、まちを花で美しく飾ってもらうきっかけづくりとして、指導者の育成を考え「緑のまちづくり研修会」としてガーデニング講習会を開催しました。完成した鉢植えを東新町駅に飾り、鮮やかな花と緑の演出をするとともに、まちの景観向上を行いました。

陽光桜の開花時期に「花灯路」を設置し、夜桜を演出しました。



(3) まちづくり憲章の周知

商工会主催における「新桜通り夜店」に参加し、まちづくり憲章「やすらぎの心が通う四季のまち」が書かれた「エコうちわ」を来場者に配り周知を図りました。



(4)協議会活動の輪を広げる

平成26年度に「全国花のまちづくりコンクール」において「花のまちづくり優秀賞」を受賞された富士市花の会さんの活動を視察しました。花の手入れや管理について勉強させていただき、また3月には富士市花の会さんが新城市にお越しになりました。陽光桜等を見ていただき、活動内容を披露することができました。

また、東新町公民館まつりに参加し、名物「べっぴんうどん」を地区の人々に振る舞ったり、男の料理教室を開催して地域の方との交流を深めました。

(5)その他

平成29年度の活動実績

日	時	内 容
4月12日	19:00～	例会 総会について
4月28日	18:30～	総会
5月17日	19:00～	例会 29年度事業について
5月28日	9:00～	作業 新桜通りの花の植え替え
6月3日	13:00～	地域活動交付金審査会（新桜通緑化推進事業）
6月21日	19:30～	例会 夜店参加・視察について
7月12日	8:00～	例会 夜店参加・視察について
7月22日	17:00～	新桜通り夜店参加 まちづくりエコうちわを無料配布
8月23日	19:30～	例会 視察について
9月6日	19:30～	例会 視察・公民館まつりについて
9月17日	8:00～	視察 富士市花の会（富士西公園、中央公園）
10月18日	19:00～	例会 ティーズ前芝生の名称について、東新町公民館祭りについて
11月12日	9:00～	作業 新桜通りの花の植え替え
11月19日	10:00～	東新町公民館祭り参加 べっぴんうどんの振る舞い
12月6日	19:00～	例会 今後の事業計画について
1月24日	19:00～	例会 ガーデニング講習会について、陽光桜の植え替えについて 新城地域協議会役員との意見交換
2月7日	19:00～	例会 ガーデニング講習会について、陽光桜の植え替えについて 男の料理教室について
2月18日	9:00～	ガーデニング講習会開催、陽光桜植え替え作業
3月4日	13:30～	地域活動交付金成果報告会
3月7日	19:00～	例会 男の料理教室について、花灯路について、総会について
3月18日	9:00～	作業 「花灯路（はなとうろ）」設置
3月18日 ～4月7日	18:30～ 21:00	「花灯路（はなとうろ）」開催
3月28日	8:00～	富士市花の会視察対応